

生徒一人ひとりの個性を生かし、スポーツを楽しむことができる体育教師になるため、九州共立大学のスポーツ学部スポーツ学科を志望しました。そうなりたいと思ったきっかけは、選抜コースでの学びです。私たち選抜コースはゼミの授業で児童労働や女性差別など世界の問題について学んできました。児童労働を強いられる子ども達は好きなスポーツがしたくてもできないという状況です。その中には将来有望な逸材がいるかもしれません。私は小学校三年生の時から当たり前のようにバレーボールをしてきて、そういう子どもたちがいることを知って胸が苦しくなりました。子どもたちは将来世界を支える大切な存在です。一人でもたくさんの子供たちの個性を生かせるようスポーツを通して子どもたちの可能性を広げていきたいと考えるようになりました。

多様性の社会で生きる人を育成し、スポーツを通して人間力・コミュニケーション能力を高め、学生一人一人の学びをサポートしてくれる九州共立大学なら将来の夢に近づくことができると思い受験しました。

総合型選抜は調査書・グループディスカッション、方式によっては実技テストで合否が決まります。私は実技方式で受験をしました。グループディスカッションは協力して取り組まなければいけなかったのでバレーボールでのチームワークの力を活かして行うことができました。実技テストでは私が三年間進徳で練習してきたことを発揮することができました。

無事合格することができ、春から大学生になります。高校での学びを更に深めた学びをし、それをスポーツを通して自分に何ができるのかを見つけていきたいと思っています。また、部活動ではバレーボール部に入り、多くの実績が残せるように一生懸命練習に取り組みたいと思っています。自分のやりたいことができる大学生活をしっかりと楽しみたいと思います。